

校訓「不撓不屈」 原校区小中一貫教育目標「自立と共生」  
学校教育目標「自芯と優情を育み 自ら行動できる生徒」



しお ざい  
**潮 騒**



沼津市立原中学校

学校だより NO.3

行事特集号

令和8年6月1日

文責：中嶋記恵子

## 紫陽花の一粒ずつの光かな (川端茅舎)

～水無月 彩る経験、集う原中生～

※「一粒ずつ」歴史的仮名遣いそのまま

雨が木々の緑を濡らす6月を迎えました。気候に合わせた爽やかな装いの生徒たちが増える中、校庭では雨粒をまとった紫陽花が生き生きと色鮮やかに咲き誇っています。

俳人・川端茅舎は、「紫陽花の一粒ずつの光かな」という句を残しました。小さな一粒一粒が集まり、一つの大きな花を成す紫陽花。その一粒一粒が放つ静かな光は、行事を通してそれぞれの役割を果たし、仲間と響き合おうとした子供たちの姿そのものです。

5月には、各学年で大きな行事が実施されました。3年生は、歴史の息吹を肌で感じ、仲間との絆を深めた「修学旅行」へ。2年生は、大自然の厳しさと楽しさの中で自立を学んだ「高原教室」へ。そして、1年生は、長縄跳びやカレー作りなどを通してクラスの団結を育んだ「ふれあい WEEK」へ。どの学年も、教室を離れた特別な舞台上、一人一人の奮闘(光)が集まったときの、美しく力強い感動を味わうことができました。

大きな節目を乗り越え、一回り大きくたくましく成長した原中生たち。行事で得た自信と「共生」の精神を、これからの日常の学びや部活動へとつなげ、さらに自らの「色」を深く輝かせてほしいと願っています。保護者の皆様、引き続き、御支援のほどよろしくお願いいたします。



生徒玄関前の紫陽花

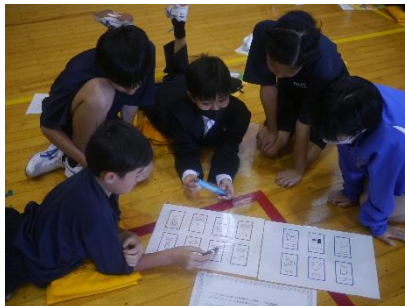
生徒の感想・  
振り返り 敬称略

## 1年生 ふれあい WEEK 本校にて 5月13日～5月15日

- 1日目…ヤマテツ杯ダンス大会 優勝B組 , ヤマテツ杯長縄大会 優勝 B組、C組 21回
- 2日目…認知症サポート養成講座…認知症サポーターとして「オレンジリング」をいただきました。
- 3日目…カレー作り・ヤマテツ杯カレーコンテスト 優勝A組5班

### 自分が「これは頑張った!」と言えることは?

- \*ダンスでは、みんなで「こうしよう」など提案を出し、決まったことをみんなに声を掛けたり、アドバイスしたりした。長縄では、練習時間も少ない中、回す人たちは協力して息が合うようになった。誰かがミスしても責めるのではなく、支え合ったり応援し合ったりすることでクラスが団結することができた。 A組 土屋涼奈
- \*カレー作りで、野菜を切るのはもちろん、火を止めないようちわで風をおこしたり、焦げないようにヘラでカレーを混ぜたりした。ダンスと長縄では、チームで協力して、きれいに踊れるようにしたり、つまづかないようにタイミングをとって跳べるようにしたりした。チームワークが高まったと思う。 B組 太田百合
- \*ダンスでは、ふりを早く覚えられれば他の人にも教えられかなと思い、そのために頑張って覚え、自主練をした。長縄では、どうやったら上手く跳べるか考えた。コミュニケーションをとれば仲間も深まるので、それを意識しながら取り組んだ。 C組 岩下紗英



## 2年生 高原教室 紅葉台キャンプ場(西湖) 5月14日~5月15日(1泊2日)

スローガン「Fly High」~自然の中で友情を深め、協力し合い、大きく成長しよう~

1日目…ハイキング、夕食カレー作り、キャンプファイヤー、スタンプ披露 など

2日目…朝食カートンドック作り、ボタニカルジェルキャンドル作り など

- \* 朝の西湖が凄くきれいで心に残っている。今はスマホが進化していて、あんまり自然に触れることがないけれど、西湖で自然に触れてみて、自然によって心がきれいになるなど思った。  
ハイキングでは、道を間違えたりしてしまったけれど、自分たちで考えて行動したことで協力する力が身について、仲が深まったなど思った。  
高原教室を通して、自分勝手な行動をするのではなく、班員やクラスのみんなの考えを取り入れて行動することが、学校生活でも大切なんじゃないかなと思った。  
A組 佐野想海
- \* 朝から鳥が気持ちよさそうに飛んでいたりしたのがとても心地よくて、生き生きと育つ木々の中で生活することで心が晴れやかになったのを感じた。  
食事係としての仕事で積極的に指示を出すことができたと思う。また、自らも積極的に仕事を果たせたと思う。  
学校外での生活でしっかりと公共のルールを守ることを学んだ。あたりまえのことかもしれないが、しっかりとルールやマナーを守れる人になれたと思った。  
B組 飯田旬梨
- \* 普段あまり味わうことのない景色が心に残った。自然とは日常から少し違う空気感で、特別な気持ちになれるものだと感じた。  
周りを見て、今自分が何をすべきなのかを考えて行動した。スタンプを通して、素の自分を少し出せるようになったと思った。  
クラスの人と協力することの大切さを学んで、これからは、自分だけではなくて、みんなのために動いていきたいと思った。  
C組 深澤裕可



**3年生 修学旅行** 奈良・京都 5月13日～5月15日(2泊3日)  
 スローガン「思ひ出づくり いとをかし ～じっくり古都古都 見て学ぶ～」

- 1日目…奈良(法隆寺・薬師寺(法話)・東大寺大仏殿・奈良公園)  
 2日目…クラス別研修  
 3日目…班別タクシー研修



- \* この修学旅行では、日本の文化や建築などを身近に感じることができた。  
 奈良では、日本の仏教の中心地として、社会の授業で学んだことが役立った。  
 京都では、古都として世界遺産や着物文化などを実際に知って、「見て学ぶ」ことができた。「見て学ぶ」ことがこんなに楽しく、興味がわきあふれるものだとして初めて知った。この日本の歴史的な文化の遺産の良さが、これからも世界に広まっていったらいいなと思った。  
 A組 諏訪健太
- \* 全体を通して自分の仕事は半々ぐらいでやり遂げることができた。少しかれて自由になりすぎてしまったりもしましたが、3日目ではそういった反省を生かして動くことができたのでよかった。  
 3日間の中で、いろいろなお寺や神社に行き、修学旅行前は知らなかったことを知ることができた。特に印象に残ったのは、東大寺と清水寺だ。奈良の東大寺はとても大きくて、想像をはるかにこえていて驚いた。清水寺は、写真などでよく見る場所を実際に見て、とても感動した。ガイドさんなどに教えてもらったことをしっかりと覚えておき、さらに調べていきたいなと思った。  
 B組 鈴木世梨香
- \* 奈良や京都は「和」の町並みで、やはり人が多いと感じた。外国人の人が多かったが、どの人もとても楽しそうだった。この町は、人々に愛されて、人々をつなぐ力があるのだと思った。  
 動物とのふれ合い、伝統の大切さ、そして、古くから伝わる文化に魅了された3日間だった。また、行ってみたいと思える修学旅行にできてよかったと思った。  
 C組 唐沢夢月

